

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

Injury Alert (傷害速報)

No. 131 網戸からの墜落による頭部・顔面外傷, 上肢骨折

| | | |
|----------------------|----------------------|---|
| 事例 | 基本情報 | 年齢: 3歳8か月 性別: 男児 体重: 14.7 kg 身長: 95.9 cm |
| | 家族構成 | 父, 母, 妹, 本児 母の実家に, 母方親族(祖父母, 叔父, 叔母)と同居 |
| | 発達・既往歴 | 特記事項なし |
| 臨床診断名 | | 脳震盪, 前額部挫創, 左眼窩底骨折, 右上腕骨骨幹部骨折 |
| 医療費 | | 入院 201,120円 外来 42,140円 |
| 原因対象 | 対象名称 | 網戸 |
| | 入手経路使用状況 | 自宅はおよそ築15年の戸建て住宅(2階建て). 本児が墜落したのは, 2階ダイニングルームの壁に設けられた腰高窓. ガラス窓を左右にスライドすることで開閉する, 一般的な引き違い窓に網戸が付属している. 原因となった腰高窓の直下に, 平時よりベンチタイプの椅子が1脚置かれていた. 以前から, 本児がこの椅子を足がかりにして登り, 窓に寄りかかるように座っていたことがあった(図1). 墜落の危険を感じた祖父が, 当該窓に木の板をあてがっていたというが, あくまで応急処置的なもので, 強固に取り付けていたわけではなかった. (網戸自体の劣化・破損の有無, 当該窓や椅子の高さ・サイズ, 木の板の設置状況等に関しては, 事後情報収集ができず, これ以上の詳細は不明である.) |
| 発生状況 | 発生場所 | 自宅2階のダイニングルーム |
| | 周囲の人周囲の環境 | 近くにいた母親が, 墜落の状況を目撃した. |
| | 発生年月日 | 2021年10月X日(木) 午後3時20分 |
| | 発生時の詳しい様子 受診までの経緯 | 発生当時, 換気のためガラス窓が開いていたが, 網戸は閉められていた. 本児が(上述の如く)窓の棧に座り網戸に寄りかかったところ, 網戸が窓枠から外れ, そのまま本児は約5m下のコンクリート地面に墜落した. 墜落直後, 本児は啼泣していた. 母親が救急要請し, ドクターヘリで医療機関へ搬送された. |
| 医療機関受診時以降の治療経過 転帰 | | 病着時, 本児の呼吸状態および循環動態は安定しており, 啼泣していた. 意識レベルはGCS E4V4M6(14点). 右上腕に変形を認めた. 各種画像検査にて上記診断となり, 一般病棟に入院した. 眼球運動障害はなく, 眼窩底骨折は保存的に管理した. 右上腕骨骨幹部骨折についてはキャスト固定を行った. 院内の虐待防止委員会で協議し, 虐待の可能性はないものと判断されたが, 再発防止の観点から, 保護者同意のもと地域の子育て支援課へ通告を行った. X+2日に退院した. 退院後は, 上腕骨骨折に対して5か月ほど通院治療を継続し, 後遺症なく治癒した. |
| キーワード | | 墜落, 網戸, 頭部外傷, 骨折 |

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

1. 東京消防庁管内では, 2017年から2021年までの5年間に, 5歳以下の子ども62人が住宅等の窓やベランダからの墜落により救急搬送されている¹⁾. 死亡事例もたびたび報道されている. 消費者庁が集計した医療機関ネットワーク事業のデータ²⁾によると, 墜落は子どもだけで遊んでいる時に起こりやすく, 特に「窓枠に座る・網戸に寄りかかる」「足場に登る」等が危険因子となっている. 窓を開けたりベランダに出たりする機会の増える初夏から秋頃にかけて発生しやすく, 特に3~4歳が多い. また, 全体としては窓からの転落が多いものの, 死亡事例はベランダからの墜落ケースで多い傾向が示されている.
2. 年少児ほど体重に占める頭の割合が大きいいため, 墜落時に頭が下になり頭部外傷が起こりやすく, 重症にもなりやすい³⁾. 米国小児科学会の報告では, 死亡事故は主に高所(建物の2階以上もしくは高さ6.7m以上)からの墜落時, またはコンクリート等の硬い表面に当たった時に発生するとされている⁴⁾.
3. 住宅等建物からの墜落を防止するため, 一般家庭では, 以下に挙げるような事項を日頃から確認・実践することが重要である.

〈窓やベランダ周辺的环境づくり〉

- ・ベランダへの出入り口を確実に施錠する(補助錠による二重ロックを推奨)



図1 墜落直前の状態（再現図）

事例発生当時の当該窓周辺の家具配置および本児が網戸に寄りかかって座った状態を、ダイニングテーブル側から見たイメージで再現した

- ・窓の近くやベランダに、足場になるようなものを置かない
 - ・エアコンの室外機は手すりから 60 cm 以上離して設置する
 - ・窓、網戸、ベランダの手すり等に劣化がないか、定期的に点検する
- 〈日常的な子どもの見守り・教育〉
- ・子どもだけを家に置いて外出しない
 - ・窓を開けた部屋では子どもだけで遊ばせない、ベランダを遊び場にさせない
 - ・窓枠や出窓に座って遊んだり、窓や網戸に寄りかかったりさせない

参考文献

- 1) 東京消防庁. 住宅等の窓・ベランダから子どもが墜落する事故に注意！ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/topics/children/veranda/index.html> (参照 2023-7-4)
- 2) 消費者庁 News Release (令和2年9月4日). 窓やベランダからの子どもの転落事故に御注意ください！ https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_037/assets/consumer_safety_cms205_200904_01.pdf (参照 2023-7-4)
- 3) Vaughn A Harris, et al. Pediatric injuries attributable to falls from windows in the United States in 1990-2008. *Pediatrics*. September 2011, 128 (3) 455-462. (PMID : 21859909)
- 4) American Academy of Pediatrics Committee on Injury and Poison Prevention. Falls From Heights : Windows, Roofs, and Balconies. *Pediatrics* May 2001, 107 (5) 1188-1191. (PMID : 11331708)